片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

自分だけの感動の物語を!

どこだ? 自分のスイッチは?
いつ現れる? 自分のスイッチは?

年が明け、正月を過ごし、受験期を過ごし、入学期を過ごし、初夏を過ごし、夏を過ごし、秋風に吹かれ冬を迎えて今となり、はっと気付かされるのですが、二〇一四年もいつの間にやら終わってしまっておりました。二〇一五年さん、こんにちは。

しかし、これで「片桐英数塾」の九回目の年越しです。さすがに九回も年を越しているうちに、「片桐英数塾」にもいろんな歴史が刻まれていました。最近、思うのですが、そういった塾の歴史を現役生に語ることが、使命とまでは言いませんが、自分にしかできない大切なことに思えています。そこで今回は、「片桐英数塾」の最初の中一生となった学年から、三名の物語(?)を書いてみたいと思います。

二〇〇六年六月にスタートした中学部に最初に入塾してくれたのは二人の中一の男の子でした。「片桐塾に中学部ができる」という噂を聞き、六月までどこにも行かず、開校を待って入塾してくれました。本当にありがたく、感謝すると同時に、「絶対に伸ばしてやる」という思いに激しく強く燃えていました。しかし、まぁ、最初の頃の彼らの自由奔放さたるや……。どうにか伸ばさなければならないので、彼らに言って聞かせて悟らせて、頑張らせるように、綾美先生ともども必死になっておりました。諭すため、いろんなことを話しました。中一の彼らに大学受験のことについても話しました。「日本にはなぁ、こんな大学があるんぞ……」と大学のことを話しておりますと、まだまだ成績も伸びしろの方が多いというのに「え、東京大学ってのがあるん? 先生。俺、そこに行くわ!」と何故か凄く盛り上がってしまいました。が、次に塾に来た時に、彼はひどく落ち込んでいました……。「先生。ごめん。東大に行きたいってお母さんに相談したんや。そしたら、東京は物価が高いから京大にしとけって言われたんや。ごめん。俺、京大にします。」と、本当にすまなさそうに謝る彼を見て、心にほっこり花が咲いたような、癒される思いがしたのでありました。

しかし、そこから彼は伸びました。一年後には学年でトップになるまでに伸びました。ただ、その時、喜びのあまり、両足を骨折してしまい「もう! 褒めていいのか怒っていいのか!」と語気を荒げるお母さんの嬉しそうな表情が頭の中にこびりついております。

その後も彼は頑張り続けました。ちなみにですが、彼は塾のセンター試験の記録保持者です。年度によって難易の差がありますので、一概に得点をもって記録とするのはどうかとは思うのですが、一応書きますと、センター試験の英語では、筆記一九八点(二〇〇点満点)、リスニング五〇点(五〇点満点)、全教科の合計は八四五点(満点九〇〇点)でございました。いずれもこれまでの塾記録です。何かスイッチが入ると、人は別人のように本当の自分へと変化するんだな。彼を見ているとこんなことを思ったのでありました。

最初の二人とドタバタやっていたところ、もう二人の男の子が入塾してきました。そのうちの一人は、まぁ、何と言いますか、勉強ということに嫌悪感を抱いているって感じでした。「勉強は好きか?」と聞くと「好かん!」と間髪入れずに即答。何度試みても「勉強は好かん!」という信念は固いらしく、勉強をどうしても好きになってもらえません。これには本当に困りました。ある時、彼が何故だか「儲ける」ということに異常に興味を示すことを知りました。そこで、禁断の作戦に打って出ました。「まだ勉強は好きになれんか?」「なれん!」「ほぉ~かぁ~(ちょっと困った顔で) 儲かるのになぁ……。」と話したところ、私の思っていた以上に食いついてきて、それには逆に私がびっくりしました。「え? 先生。勉強っちゃ儲かるん???」 ほんだら俺、頑張るわ!」ってな感じで、本当に頑張り始めてしまいました。しかし、彼の頑張りはどことなくユニークでした。私は「書いて覚えろ! 書かなカは付かん!」と、書くことを徹底的に指導していたのですが、ある日、「ホンマやな。先生。書きまくっとったら力付いたわ!」と、力コブを見せながら、嬉しそうに語る彼の姿がありました。見るとノートにボールペンで字か何か分からないものを、ゴリゴリと書きなぐっておりました。ですが、不思議なことに(?)彼も伸びました。「先生。英語は百番伸びたきん」と言ってきた時、「ん? 元は?」と率直に思った私がいたのでありました。

しばらく男子だけの四人で頑張っていたのですが、中二になる頃に女の子が数名入ってきました。その中の女の子で忘れられない子がいます。

その子はとても真面目な子で、一生懸命に頑張る子でした。真面目過ぎてそれが災いする。その典型だったように思います。力はあるのは分かっている。ですが伸びないことばかりを気にするあまり、目の前の勉強に手が付かず、そして、成績は伸びない。まさに悪循環でした。高校に進学してからもその状態は続き、大学受験でも本命とする大学には完全に力不足で涙しました。これには中学から指導している私たちには心底堪えました。「浪人はできんのか?」と聞くと「下がおるきんできん」と言って泣く。しばらく事務所で泣いた後「私、ここ(本命とは程遠い大学)に行きます。そして必ず本命に編入します」と言って帰っていきました。そして二年が過ぎ、突然彼女がやってきました。見違えるほどしっかりして。「報告があります。〇〇大学(本命)に編入で進学することになりました」と話した後、涙は滝のように彼女の頬を伝い溢れ出しました。私たちも目に涙を溜め喜びました。ですがそれよりも、私が不思議に思ったのは、目も疑うほどに成長した理由についてです。聞くと、「私は本命ではなかったけどあの大学に進学して良かった。二年生になり幼稚園での実習があったのですが、そこの園長が厳しい方で『園児にとってあなたが学生かどうかなど全く関係ないことです。だから私はあなたを学生としては扱いません』と言って、とても厳しくご指導して下さいました。実習中、泣かずに帰った日はありません。あの時、自分が悟れたのだと思います」。人にオーラというものがあるとするならば、同世代の卒業生の中で彼女のオーラは完全に他を圧倒しておりました。しかし、人のスイッチとはいつ出現するのか分からないものですね。彼女のスイッチは、大学に進学してからあったのですね。

と、片桐英数塾の中学部に入塾した最初の学年から三名の物語を書いてみました。本気で頑張ったからこそ、ユニークであり、心を揺さぶられるようなエピソードが生まれたのだと思います。何より、苦しくても頑張ったからこそ、自分を変える「スイッチ」が現れたのだと思います。

自分の物語は自分にしか作れません。今年こそ、みんなも自分だけの物語を作ってみませんか?

あ、それと、今年も一年、宜しくお願い致します。

全統高1高2記述模試
2月7日(土)実施

申込締切日 1月28日(水)
受験料 3600円

彼を知り己を知れば 百戦殆からず

※試験会場はいずれも坂本教室となります。
受験希望者は、別紙実施要項を確認の上、
1月28日(水)までに受験料を添えて申込んでください。
締切後の変更・キャンセルはできません。

年末年始休講日のお知らせ

坂本教室、天神教室ともに
12月29日(月)~1月3日(土)の通常授業はお休みです。

ただし、中学生対象「冬期特別講習」、高3生対象「年納め学習会」は予定通り実施します。

なお、自習室は下記の日時で利用できます。

12月29日(月) 13:00~18:00	1月 3日(土) 13:00~18:00
12月30日(火) 13:00~18:00	1月 4日(日) 13:00~16:00
※12月31日(水)は事前申込者のみ	1月11日(日) 13:00~16:00
	1月18日(日) 13:00~16:00

坂本教室の1月のお休みは、1日(木)、2日(金)、25日(日)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

こちらのQRコードから塾のHPにアクセスすることができます。

HPアドレス http://www.katagirijuku.com
メールアドレス katagirijuku@docomo.ne.jp

2015年も どうぞよろしく お願いいたします。

小学6年生対象 新中1準備講座

中学生で習う内容を先取りするだけでなく、将来伸びる為に必要となる土台作りをサポートします。わからなくてもすぐにあきらめないで、じっくり考えるタフな思考力を楽しみながら身につけていきましょう。計算王・クイズ王・漢字王決定戦へのエントリーお待ちしています!

教科:英語・算数・国語 開講日:毎週木曜日18時~20時
月謝:7,560円(税込)/120分×月4回 または 土曜日16時半~18時半

パズル道場 算数 国語 算数MAXも引き続き受講生募集中です!